市政に対する

一般質問

一般質問は9月21日・22日・24日の3日間にわたって行われ、11人の議員が活発な論戦を展開しました。紙面の都合により、質問・答弁ともに質問者が要約しています。詳細な内容は会議録をご覧ください。

なお、会議録は市立図書館等で閲覧することができます。また、本会議の会議録はホームページでご覧いただくこともできます。ただし、最新の会議録の提供までには3カ月程度かかります。

第5次吉川市総合振興計画の策定について

中嶋　通治

(問)　第4次総合振興計画を基に進められたまちづくりに対する成果を含め、市長の総括的な考え方はいかがかお伺いします。

(答)**市長**　三つの基本理念の基、積極的にまちづくりに取り組んだが、「子どもを産み育てられるまちづくり」等「次期総合振興計画」への必要なものがある。市民の皆様のご理解とご支援があれば引き続き市政を担当し、「第5次総合振興計画」への舵取りをさせて頂きたい。

(問)　4期目への出馬表明と受け取ってよいか、次期計画への持ち越しや、新たな課題への対応が必要との事であるが、具体的な考え方はいかがか。

(答)**市長**　4期目への出馬表明と受け取ってよい。施策については待機児童の解消や子ども医療費の充実等生活基盤の充実に力を入れます。条例改正が必要であるので、議会の協力を得て、来年度の早い時期に15歳まで拡大していければと思います。

◆学校区の防災訓練について

(問)　後期基本計画の中で総合的な防災訓練を定期的に実施するとあるが、以前は積極的に学校区において訓練を実施していたのに取り止めになった経緯は。

(答)**市民生活部長**　自主防災組織の設立が進み、地域型の訓練への転換を目指し廃止した。防災意識をさらに高める為に効果的な手段であり、実施に向け検討します。

高齢者所在不明問題と高齢者福祉について

稲垣　茂行

(問)　これまでの取り組みと確認状況、今後の予定は。

(答)**健康福祉部長**　100歳以上6名のうち、5名は特養等施設、1名は在宅を確認した。75歳以上の高齢者3千747名中、114名について、民生児童委員の協力により面接調査を実施。4名について、本人確認が出来なかった。家族の話では、遠方で生活しているとの事だが、職員による再調査を考えている。

(問)　年金の不正受給につながる事例はあったのか。

(答)**健康福祉部長**　不正受給につながるケースは見られない。

(問)　今後、60歳以上の年金受給者や乳幼児への調査を拡大する予定は。

(答)**健康福祉部長**　乳幼児健診等で確認。不明者はいない。60歳以上への拡大は困難。

(問)　戸籍上、生存者扱いになっている100歳以上の方は。

(答)**総務部長**　70名いる。この内、住民票がない67名については法務省と協議し、職権による消除を予定。残る3名は生存を確認している。

(問)　個人情報の取り扱いと活用については。

(答)**健康福祉部長**　地域包括支援センターと民生委員に対しては、様々なサポートが出来るよう、住所・氏名・生年月日・性別を、また必要に応じ家庭状況を地域包括へ提供している。

(問)　庁内の連携と活用は。

(答)**総務部長**　福祉・税務・選管・教育委員会と市民課が連携している。